

想 SOU

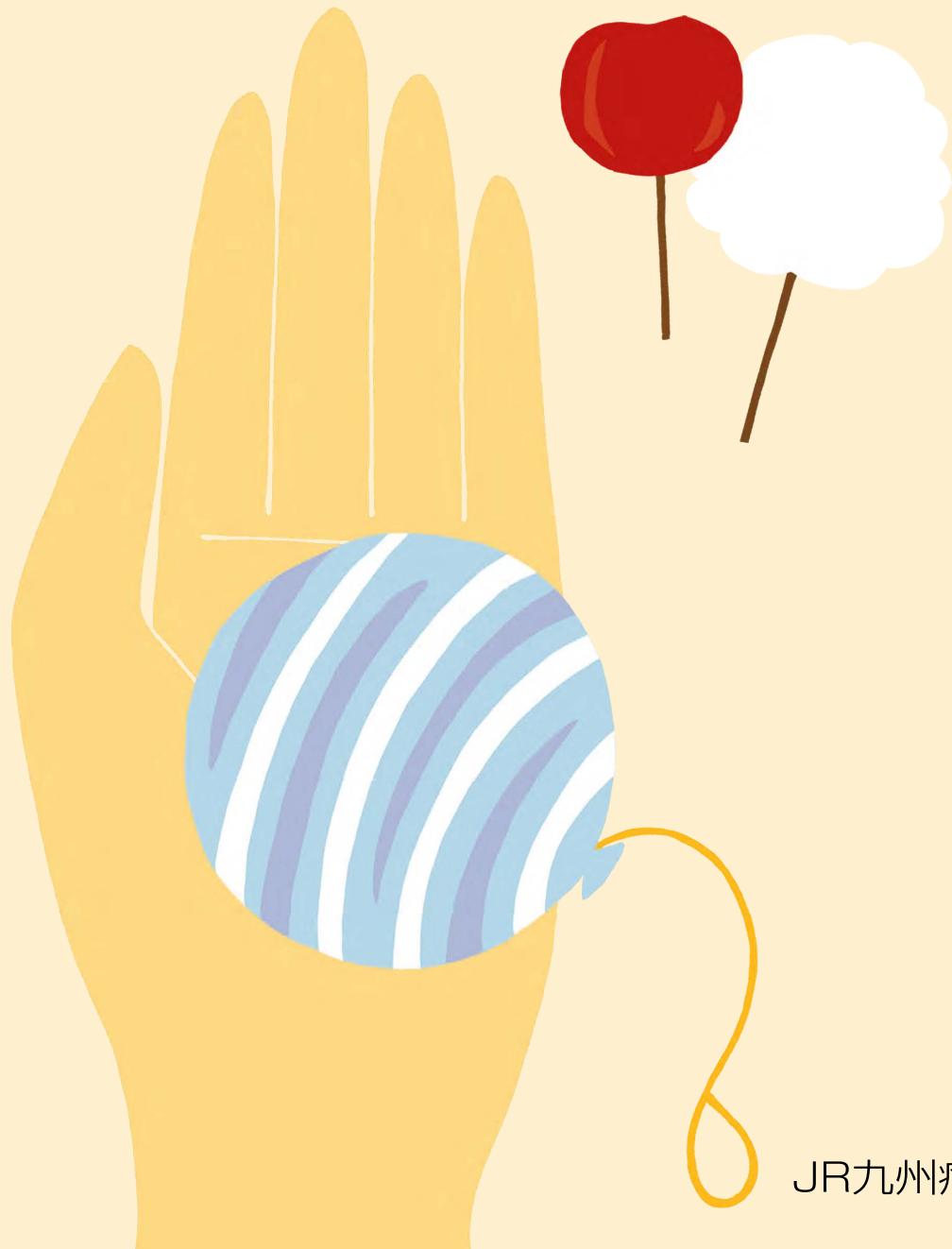
JR九州病院 広報誌

「そう」

2008年 夏
Vol.9

目次／Contents

- P1 関節リウマチ - 今昔
～リウマチ科 古郷功主任医長～
- P2 新任ドクター紹介
- P2 神経内科外来のご案内
- P2 お薬手帳を活用しましょう
- P3 インフォメーション・病院からのお知らせ



vol.9

JR九州病院

Information JR九州病院からのお知らせ

売店レポート

皆さんお存知でしたか？
売店では従来どおりパン、お弁当、おやつ等の食品や飲み物、入院必要品等の販売のほかに、新たにJR新幹線グッズ、ソフトバンクホークスグッズ（帽子5種類）が販売になっているという事を…！

えっ？ 知らなかつたと言う方にはもちろん、もうお存知の方にも再度お知らせしたいと思います。

JR新幹線グッズは4月から、携帯ストラップ（九州新幹線や特急列車が連なったデザインです）・ハンドタオル・色鉛筆（2種類）等を販売しております。



ソフトバンクホークスグッズは5月より、5種類のホークスキヤップ（¥2100）を販売しております。
販売個所は売店に入って正面のパン棚の上部と奥のアイスクリーム用冷凍庫の

上です。

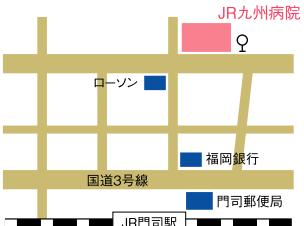
ちなみにホークスキヤップの一番人気は一番右の、黒地に白抜きの鷹が飛んでいるデザインの帽子だそうです。

また、レジ横には門司港レトロの絵葉書も置いています。日ごろなかなか会えない方に電話やメールでなく一筆書いてみてはいかがでしょうか？

～ホークスキヤップをかぶつて
ソフトバンクを応援しよう!!～



JR九州病院のご案内



〒800-0031 北九州市門司区高田2丁目1番1号

TEL 093-381-5661

FAX 093-381-1077

JR門司駅から徒歩5分/西鉄バス高田二丁目下車徒歩1分

JR九州病院 ホームページ

<http://www.jrkyushu-hospital.jp/>

【当院理念】

私たちJR九州病院は、
安全で良質な医療サービスの提供を通じて、
安心して暮らせる地域づくりに貢献します。

編集後記 吉原 健

8月は英語でオーガスト(August)というが、これは初代ローマ皇帝アウグストゥス(Augustus)の名に由来する。7月のジュライ(July)がジュリアス・シーザー(Julius Caesar)によって名付けられたことからも、暦に自らの名を冠することが、当時、権威を示す有力な手段であったことが伺える。アウグストゥスが皇帝の座にある時、ローマで初めての公共浴場が建設された。浴場にはマッサージ施設等も整備され、当時のローマ人は若い時からの健康管理に高い関心を持っていたと考えられている。

今年度から通称「メタボ健診」が導入された。対象となる40才以上の方は勿論、若い世代もローマ人にならい、自己の健康管理に留意したいものだ。

想(そう) 夏号(通巻9号)

平成20年8月1日発行(季刊)

発行人：林田 一洋(JR九州病院 院長)

JR九州病院 広報委員会「つばめ」

副院長 亀井 降史

事務長 梅田 純一

看護部 平八重子 安成 康介

薬剤科 白江 泰代

中央放射線室 永井 嘉明

リハビリテーション室 木部 竜也

中央検査室 有吉 大悟

医療連携室 谷川 浩司

総務課 吉田 利枝 吉原 健

発行：JR九州病院

北九州市門司区高田2丁目1番1号

TEL 093-381-5661

編集：株式会社ジェイアール九州エージェンシー

印刷：福岡印刷株式会社

新任ドクター紹介

5月に循環器内科のドクターが赴任いたしました。よろしくお願ひいたします。

循環器内科 大塚 祥司

平成20年5月より、循環器内科に着任しました大塚です。

JR九州病院には、平成10年11月より、平成18年4月まで勤務しておりました。その後、済生八幡総合病院循環器科を経て、再度当院に勤務することとなりました。

地域医療に貢献できるようがんばりたいと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。

なお外来診療は、火曜と木曜の午前中です。



月曜午後に神経内科の外来診療を行っています!

神経内科 河村 信利

昨年10月より九州大学神経内科より河村信利先生が来院して、外来診療を行っております。

神経内科では脳梗塞、パーキンソン病、認知症、頭痛、末梢神経障害、てんかん、筋疾患、その他の神経難病など幅広い疾患を対象としております。

診療日は、毎週月曜日の13:00～16:30です。

なお、完全予約制ですので、受診される場合は事前に内科外来までお問い合わせください。

お問合せ先 JR九州病院 内科外来 TEL093-381-5661(代表)



お薬手帳を活用しましょう!

『お薬手帳』は医療機関におかかりの際にお持ちください

当院でも7月から75歳以上の患者さんに発行しています。(75歳未満でも既に『お薬手帳』をお持ちの患者さんにも発行しています)『お薬手帳』は服薬情報の一元化が目的で強制ではありませんが、

- ・今どんな薬を飲んでいるのか?
- ・服薬期間はどのくらいか?
- ・過去にお薬での副作用やアレルギーがないか?
- ・他院からのお薬の飲み合わせや重複を回避します。



などを医師、薬剤師が確認しております。

また『お薬手帳』は患者さんが受診されているすべての医療機関の情報が記録されていることが必要です。

お薬手帳は1人何冊も持たずに、1冊にまとめましょう。

関節リウマチ-今昔

古郷 功

JR九州病院 リウマチ科主任医長



4月に北九州市立医療センターより赴任してきました。主に関節リウマチやその他の膠原病の薬物治療を担当しています。個人的には以前に6ヶ月間門司区内で勤務していたこともあり懐かしい土地です。

関節リウマチ(RA)は人口の約0.8%を冒す慢性の多発関節炎です。40歳代に好発し女性が男性の3倍も多いという特徴があります。痛みもさることながら、進行すれば関節が変形し機能障害を起こします。長い間治療の目標は痛みをとることで、消炎鎮痛剤(NSAID)やステロイドが投与されてきました。それが日本でも9年前にMTX(商品名:リウマトレックス)、6年前にインフリキシマブ(商品名:レミケード)が発売されてから治療法

が変化してきています。関節破壊の阻止や寛解が現実の目標となり、一部ではありますが治癒も期待されるようになってきました。

現在の日本の保険治療では関節リウマチと診断して活動性があれば、なるべく早期からSASP(商品名:アザルフィジン)またはブシラミン(商品名:リマチル)を投与します。そして3ヶ月後までに効果判定して効果不十分であれば、MTX(商品名:リウマトレックス)を投与することが推奨されています。これら3剤はDMARDと呼ばれ骨破壊抑制効果が確認されている薬剤ですが、効果発現までに1~3ヶ月を要すること、全員に効くわけではなく有効率が6~7割であること、しばらくして効果減弱することもあること(二次無効)などの特徴があります。MTXは骨髄抑制や間質性肺炎などの副作用で日本の新聞を賑わせたこともありますが、世界中でいまだに第一選択薬とされており関節リウマチの治療には欠かせない薬剤です。

MTXが効果不十分な場合は、生物学的製剤のうちTNF阻害剤のインフリキシマブ(商品名:レミケード)またはエタネルセプト(商品名:エンブレル)、アダリムマブ(商品名:ヒュミラ)の投与が全世界的に推奨されています。前2剤

は当院でも使用していますが、日本での有効率は8~9割と非常に高くしかも即効性であり、骨破壊抑制効果も最強と考えられています。発症2年以内の早期リウマチでは、インフリキシマブを短期間(1年ほど)使ってその後中止しても寛解を維持している(いわゆる治癒)例が報告されていますが、それがどのくらいの割合なのかが全世界的に注目されているところです。ただ一方で結核や肺炎などの感染症を誘発することもあり、また保険適応になってはいますが非常に高価なのがネックです。

あるTNF阻害剤が効かなければ他のTNF阻害剤に変更し、それでも無効であればIL-6R阻害薬のトリソズマブ(商品名:アクテムラ)の使用を考慮します。この薬剤は発売直後で当院での使用経験はまだありませんが、効果発現まで2~3ヶ月を要する一方で有効率9割と報告されており期待します。

以上関節リウマチの治療を概説してきましたが、この分野ではその他にも薬剤の開発が進んでおり10年前と比べると隔世の感があります。それだけに標準治療が数年毎に変化してきているのが現状で、門司地区において最新治療を提供することを自分の使命と考えております。